

農業DXの推進骨子

松山市農林水産部

令和6年5月策定
令和7年7月更新

市長公約

柱④ 安全・安心で持続可能なまちづくり

⑦ 農業、介護などDXを推し進め、暮らしを便利にします。



公約の実現に向けて



農業の現場が抱える課題を解決する手段としてDXを活用し
市長公約の実現を目指します。

農業の現場が抱える課題

農業の現場が抱える課題を3つの領域に整理しました。

01 生産現場



農業関連
人口の減少

農業者の高齢化（R3）

68.4歳

基幹的農業従事者平均年齢（全国）



担い手の不足（H27→R2）

－18.9%

総農家数（全国）



労働力の不足（H27→R2）

－34.9%

雇用労働者（臨時雇）（全国）



02 農村地域



中山間地域の
環境悪化

荒廃する農地（R2）

28.2万ha

荒廃農地（全国）



多発する自然災害

3307億円

平成30年7月豪雨農林水産被害（全国）



有害鳥獣の被害（R3）

155億円

野生鳥獣による農作物被害（全国）



03 流通販売



法規制と
流通の変化

物流の2024年問題

上限960時間

自動車運転業務の時間外勤務制限



輸入の増加（H28→R3）

+1.21兆円

農産物輸入額



農協組織の縮小（H27→R2）

－20万人

農協正組合員数（全国）



DXで描くまつやま農業のミライ

01 生産現場



農業関連
人口の減少

生産現場のDX

- スマート農機
- 人材投資

農業の生産性を向上

スマート農機により作業を省力化。
研修による人材育成。人手確保を支援。

02 農村地域



中山間地域の
環境悪化

農村地域のDX

- 遠隔操作
- 遠隔監視

農村の暮らしに安全・安心を

遠隔操作や遠隔監視で草地やため池の管理負担と
災害リスクを低減。有害鳥獣対策にも応用を検討。

03 流通販売



法規制と
流通の変化

流通販売のDX

- 営農用アプリ
- ライブコマース

新鮮なものを新鮮なまま

営農用アプリによる生産管理の効率化やライブ
コマースによる直接販売を支援。物流標準化も検討。

農業の現場が抱える課題をDXで解決しながら

持続可能な農業のミライに向けた施策を着実に進め

～一人でも多くの人を笑顔に～ 導きます。



農業関連
人口の減少

農業の生産性を向上

スマート農機により作業を省力化。
研修による人材育成。人手確保を支援。

先進
取組

スマート農機研修・研究

技術概要

- 研修に用いるスマート農機を導入し、体験会を実施
- DX機器を活用した研究や実験の実施

導入効果

- 農業者が便利さを実感し、機器の導入が進む
- 多様な研究データの収集が可能

状況・目標

- 省力化の実現と、農家がデータを蓄積・活用することで農業生産を安定化
- 経験や勘に頼らず数値に基づくことで農業技術を円滑に伝承



先進
取組

マッチングアプリ

技術概要

- マッチングアプリで人手確保
- アプリで求人情報を登録し、応募者とマッチング後、オンラインで雇用契約まで締結

導入効果

- 農作業のスケジュールに応じ、求人・求職を1日単位で柔軟に確保
- 将来的な就農も期待

状況・目標

- R5年度に興居島地区の取組を広報・操作説明で支援
- R6年度に興居島の取組を紹介
- 地域からアプリ活用相談に対応し支援



実証
実験

自走式抑草ロボット

技術概要

- 田植え後の水田を自動で移動し、水を濁らせて雑草の発生を抑制

導入効果

- 作業時間の短縮と負担の軽減につながる
- 除草剤の使用削減による環境配慮

状況・目標

- R7年度に実証実験を実施



02 農村地域



中山間地域の
環境悪化

農村の暮らしに安全・安心を
遠隔操作や遠隔監視で草地やため池の管理負担と
災害リスクを低減。有害鳥獣対策にも応用を検討。

先進
取組

遠隔操作草刈機の活用

技術概要

導入効果

状況・目標



- 急傾斜地や耕作放棄地など、人が入りにくい場所の除草作業を遠隔操作で実施

- 作業時間の短縮と負担の軽減につながる
- 安全な作業が可能

- R5年度に2カ所で実証実験を実施
- R6年度に12カ所で体験会を実施
- R7年度以降、レンタル補助金を交付

先進
取組

遠隔ため池管理

技術概要

導入効果

状況・目標



- ため池の水位・画像データを自動収集し、遠隔で確認
- 異常水位時には自動通知を実施

- 水管理作業の大幅な時間短縮が可能
- 異常水位時の迅速な避難・緊急対応が可能

- R6・R7年度は1カ所に設置し、実証実験を実施

先進
取組

ドローン薬剤散布

技術概要

導入効果

状況・目標



- ドローンによる農薬散布を傾斜地のかんきつ園で実施

- 作業時間の短縮と負担の軽減につながる
- 安全な作業が可能

- R6年度2カ所のかんきつ園で実証実験を実施
- これまで機器の購入費用を支援
- R7年度に代行サービスの導入を支援

03 流通販売

法規制と
流通の変化



新鮮なものを新鮮なまま

営農用アプリによる生産管理の効率化や
ライブコマースによる直接販売を支援。物流標準化も検討。

先進
取組

営農用アプリの活用



技術概要

- スマートフォンやタブレットで栽培管理記録を電子化

導入効果

- 出荷時に求められる生産記録を電子データで簡単に提出可能
- 農薬・肥料の使用基準を現場で画面上にて確認可能
- 栽培相談・連絡の迅速化

状況・目標

- R7年度に市内のJAと連携し、組合員の利用料を支援

先進
取組

ライブコマース



技術概要

- ライブ配信でブランド産品を直接販売

導入効果

- 配信を通じて、消費者と生産者等が直接コミュニケーションが可能
- 生産者の「想い」を伝える

状況・目標

- R4年度から実施
- R6年度に関係団体へ実施ノウハウを共有
- R7年度以降、さらなる効果的な手法を調査研究

調査
研究

物流予約・デジタル管理



技術概要

- トラックバースをオンライン予約
- 市場のゲートでRFIDを読み取り
- RFID対応パレットの追跡が可能

導入効果

- トラックドライバーの労働環境が改善され、産地からの安定出荷を確保
- パレットトレーサビリティが確立され、返却率が向上

状況・目標

- R5年度に調査研究の業務委託を実施
- R6年度以降、調査研究を継続

農業DX推進の方向性

01 生産現場



農業関連
人口の減少

**先進
取組** スマート農機研修・研究
研修に用いる農機を導入
したり体験会を実施
R 6年度から実施

**先進
取組** マッチングアプリ
操作説明会をしたり、
人手確保を支援
R 5年度から実施

**体験
会** 自走式抑草ロボット
作業負担を低減し、
環境にも配慮
R 7年度に実施

02 農村地域



中山間地域の
環境悪化

**先進
取組** 遠隔操作草刈機活用
作業負担を低減し、
安全に作業
R 5年度から実施

**先進
取組** 遠隔ため池管理
ため池水位を
モニタリング
R 6年度から実施

**先進
取組** ドローン薬剤散布
作業負担を低減し、
安全に作業
R 6年度から実施

03 流通販売



法規制と
流通の変化

**先進
取組** 営農用アプリの活用
スマートフォンなどで
栽培管理記録を電子化
R 7年度に実施

**先進
取組** ライブコマース
ライブ配信で
ブランド 産品を直接販売
R 4年度から実施

**調査
研究** 物流予約・デジタル管理
トラックバースのオンライ
ン予約・電子パレット管理
R 5年度から実施

シーズ（事業の種）とニーズが
重なるところに新事業の芽が出ます。

シーズ
・先進事例



ニーズ
・現場が抱える課題